



TITLE:

<教室通信> 松本紘先生が第25代総長に選出

AUTHOR(S):

小嶋, 浩嗣; 高橋, 達郎

CITATION:

小嶋, 浩嗣 ...[et al]. <教室通信> 松本紘先生が第25代総長に選出. Cue 2008, 20: 58-58

ISSUE DATE:

2008-09

URL:

<https://doi.org/10.14989/68917>

RIGHT:

教室通信**松本紘先生が第25代総長に選出**

2008年5月15日に行われた学内予備投票、22日の学内意向投票を経て、5月23日の総長選考会議において、松本紘理事・副学長が、第25代京都大学総長に選出されました。任期は10月1日からの6年間で。

松本先生は1965年に京都大学工学部電子工学科を卒業、67年に同修士課程を修了され、直ちに工学部助手に任用されました。その後工学部助教授、超高層電波研究センター教授、同センター長、生存圏研究所長などを歴任され、2006年10月から京都大学理事・副学長（研究・財務担当）を務められています。ご専門は宇宙プラズマ物理学、宇宙電波工学で、2007年には紫綬褒章を受章されています。学生時代から通算すると半世紀にわたり京都大学の教育・研究に多大な貢献をされてきました。

電気系教室のメンバーとして、講義や研究指導にも情熱を注がれ、特に卒業研究の研究室配属では、松本研究室は常に高い人気を誇ってきました。

副学長になられてからは、研究・財務担当理事として、さまざまな改革に尽力されました。競争的研究資金獲得に向けた大学としての支援体制の確立、産学連携本部の立ち上げ、重点事業アクションプランの作成、そして、最近ではiPS細胞の研究拠点づくりとそれに係る知的財産権管理・活用会社の設立など、従来と比べると異次元とも思われるスピードで、矢継ぎ早に施策をまとめられたことは、記憶に新しいものがあります。

松本紘先生からは、次期総長就任に向けた意気込みとして、本誌に「くしくも、この10月より、総長として京都大学の舵取りをさせていただくことになりました。学術の府として、京都大学が担う社会的な責任を自覚しながら、自由の学風の下、時流に流されることなく『京都大学らしい』高度な学術研究の推進、多様な人材の育成とそれを現実にする教育の充実など、常に前向きの姿勢で取り組んでいきたいと思っています。」という抱負をいただきました。また電気系教室に対しても、「OBの一人として電気系教室の動向は常に気にしております。グローバルCOEの拠点採択など、先生方の人材育成への意識の高さや、広範囲にわたる高度な研究成果を耳にするたびに、大変誇らしい気持ちになります。総長という京都大学全体をあまねく見渡していく立場となりましたので、電気系教室のみをとりあげることはできなくなりましたが、別人格に変わるわけではありませんので、今まで同様、気軽にお声がけいただければうれしいです。」というメッセージを頂いています。

長尾真第23代総長に続き、電気系出身者が総長に選出されたことは、電気系教室としても誇りとするところです。松本先生の今後の一層のご活躍を祈念します。

（cue編集部 高橋達郎・小嶋浩嗣）